

令和5年度 共創型研究推進事業 募集要項

令和5年9月15日 グローバル共創科学部

【目的】

現代の社会課題は、環境やエネルギーをめぐる地球規模の課題から、人口減少・少子高齢化をめぐる日本の課題に至るまで、問題が多様化・複雑化しており、一つの専門分野の専門知のみによっては解決できず、多様な専門知を活用し、問題解決することが求められている。この様な背景から本年4月にグローバル共創科学部が新設されたが、全学的に『共創型研究』を展開することを目的として、本事業を実施する。

共創型研究とは、個々のディシプリンベースの専門知識・技術をもとに、グローバル化した社会の新たな諸課題の発見や解決を目指した研究、特に地球の持続可能性など地球的・人類的課題に関する研究や、文理融合を含め複数の大きく異なる専門領域にまたがる学際的研究等を意味する。

【支援対象】

専門分野が大きく異なる複数の教員からなり、上述に記載の通り、共創型研究を実施しようとしているグループに支援を実施する（一研究課題における技術支援、のような共同研究テーマは採択しない）。研究内容について、既に着手している研究テーマに限らず、これから取り組む研究テーマも歓迎する。なお、グローバル共創科学部以外の教員から構成されるグループも支援対象であるが、グローバル共創科学部教員を含む研究グループを優先して支援する。

【支援額】

総額300～400万を予定しており、研究の規模、内容により支援額・支援件数を決定するが、現在のところ5件程度の採択を予定している。支援金については、研究代表者に一括で支給する。なお、研究分担者に学外の研究者を加えることは認めるが、本支援金は配分しない。支援金は令和6年2月中旬を目処に執行して頂くが、詳細は別途連絡する。

【募集期間】

令和5年9月15日（金）～10月13日（金）

【選考】

期日までに別紙様式1「令和5年度 共創型研究推進事業申請書」を提出して頂き、その後、グローバル共創科学部内に設置された選考委員会にて書類選考を実施し決定する。また場合によっては面接選考も実施することがある。採択結果の公表は11月上旬を予定し

ている。その際、選考の経緯についても公表予定である。

【事後評価】

令和6年3月31日までに報告書（別紙様式2）を提出してもらい、上述の選考委員会にて評価する。評価の内容によっては、次年度以降も支援を継続する場合がある。なお、本支援を受けた研究テーマについては、3年以内に競争的外部資金を申請することを義務とする。また、本支援で得られた成果は、グローバル共創科学部公式 web サイトにて公表する（公表内容については、採択研究グループと調整する）。

【その他】

今年度実施予定の「静大100人論文」（キャンパスフェスタ in 静岡にて開催、URL：<https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/100nin-ronbun/>）にて研究マッチングが成功した研究グループに対して、次年度実施予定の「共創型研究推進事業」に優先して採択する予定である。

【提出先及び問い合わせ先】

グローバル共創科学部 平井浩文 (hirai.hirofumi[@]shizuoka.ac.jp) ([@]を半角@に代えてください)

別紙様式 1

令和 5 年度 共創型研究推進事業 申請書

	学部	氏名	専門分野	科研費小区分コード
研究代表者				
研究分担者				
研究題目				
他の研究グループ のとの統合の可否				
支援希望額				
支援金 使用内訳				
目的・概要 (500 字以 内)				
研究計画 (500 字以 内)				
本研究の独 創性・新規 性 (500 字以 内)				

<p>本研究を共創的に行う意義 (500字以内)</p>	
<p>特筆すべき研究業績 (過去3年以内の代表的論文、著書、招待講演など)</p>	<p>※論文に関しては、著者名(研究代表者に二重下線、研究分担者に下線)、論文題目、雑誌、巻、ページ、発表年、を記載して下さい。</p>
<p>競争的外部資金獲得状況 (過去3年以内)</p>	
<p>学内にて支援されている研究資金 (過去3年以内)</p>	
<p>特記事項 (審査に有効と思われる点を記載して下さい)</p>	

※ 必要に応じて図表を使用しても構いません。その場合、必要最小限に留めて下さい。

令和 5 年度 共創型研究推進事業 成果報告書

(成果報告)

(支援金使用内訳)

※ 成果報告については 1000 字以内でまとめて下さい。また、適宜図表を使用しても構いません。